

## 宇宙にも人生にも偶然はない

T・K (会社員・男性)

私のイエス・キリストとの出会いは不思議な始まりでした。ベテル教会の牧師である大坂先生が私の会社の医療保険に加入しており、その見直しの担当者として、去年の十二月、初めて教会を「仕事で」訪ねたのです。相手は教会の牧師様だということで、少々緊張しましたし、実際教会に行くのも人生で初めてのことでした。その後仕事で何回かお伺いしたとき、帰り際に「七月一九日の特別礼拝『はじめてのキリスト教』に来てみませんか」とのお誘いを受けました。

正直その時は「この私が教会に・・・今まで行ったこともない教会に・・・」と躊躇したのを覚えています。しかし他方で「でもどんな所だろう？どんなことをするんだろう？」という興味もあり、思い切って参加してみることにしました。

当日教会に入ってみると、皆様が笑顔で温かく迎えて下さり、ほっとしました。そしてこの日から毎週日曜礼拝に行くようになりました。何回目かの時、大坂先生から「Tさん、キリスト教について内田和彦先生の著書『キリスト教は初めて』という人のための本』を読んで一緒に学びませんか」と言われ、一から学んでみることにしました。そうして礼拝後に個人的な学びの時間が始まりました。私は以前から、この宇宙はどうして出来たのだろうかと考えたたびに、

「これは偶然ではあり得ない。何かしらの「神」が創造したとしか説明のしようがないのではないか」と漠然と思っていました。また私の父も生前そのように考えていました。そこで私は「この世には

人知を超えた何かの力があり、働いているのではないのでしょうか」と先生に話すと、先生は聖書の語る神について丁寧に教えて下さいました。それはそれで納得のいくものでしたが、その時私の心に「信仰と言うのは机上の学びを越えたものだ」という思いが湧き起りました。そのことを話すと、先生は今度は神について、罪について、イエス・キリストについて、救いについてお話しして下さい、「イエス様を信じますか」と語られました。私はその教えをごく素直に受け入れたのですが、その時どこに何か新しいものが造られたような不思議な体験をしました。他にも不思議な体験があります。礼拝で聖歌を聴き、歌っていると、まだ聖歌の内容も何も解らないのになぜだか涙が滲んでくるのです。泣けてくるのです。きつと何か、いや神の「力」が私の心に強く働きかけてきたのだと思います。

礼拝に参加しただしてからは毎日朝夕に祈るようになりました。聖書に手を置き、自然から豊かな恵みを頂き、生かされていることに感謝して祈るのです。つまりは、天地を創造された「神」への感謝の気持ちを現しているということです。今思えば、大坂先生との出会いも、日曜礼拝に参加したことも、全て「神」のお導きだと思います。神様が私に手を差し伸べて下さったのです。本当にこれは単なる偶然では説明のつかないことです。

このように私は神様のお導きに従い、この度洗礼を受け、クリスマスチャンとなり、クリスマスチャンライフを送っていくことを決心いたしました。洗礼の日である今日、二〇一五年一〇月二十五日を私の新たな「誕生日」にしたいと願っています。神様のお導きに心から感謝いたします。

ありがとうございました。